

こんな姿の
私でも

好きになって
くれる…？

迫害竜娘と
限界殺し屋の
純愛快楽墜ち

本文
76P





おつかれさん

今日のお駄賃



あんなに働いて どうするのかしら

お金貯めて 旅に出たいんだと



ありがとうございます！
ではこれで

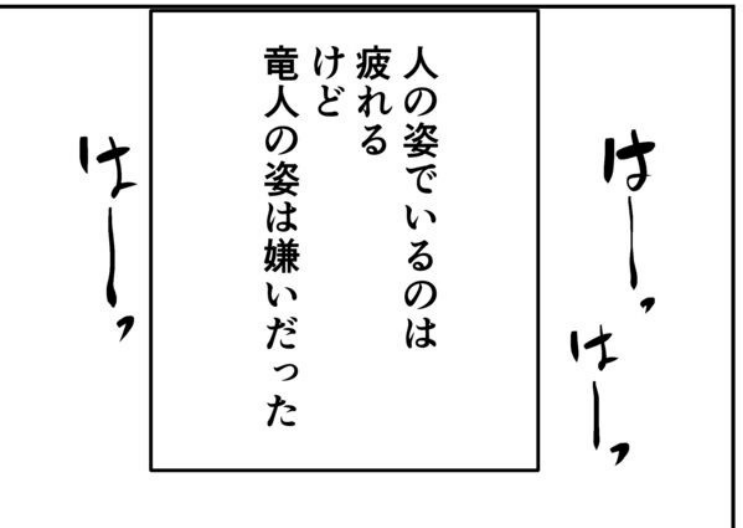
お茶でも飲んで
少し休んで
いかないかい？

ありがとうございます…
でもすみません
次のバイトがあるので



私は竜人だ
人間の姿で
暮らしていた

はー
はー



人の姿でいるのは
疲れる
けど
竜人の姿は嫌いだった

はー
はー

はー

だから私は旅に出て
普通の人間になる方法を見つけたかった



竜人が忌み嫌われるこの国で
みんなにバレる前に



しかし無理がたたって
人前で竜人になってしまい

不本意ながら
追われる形で旅が始まった

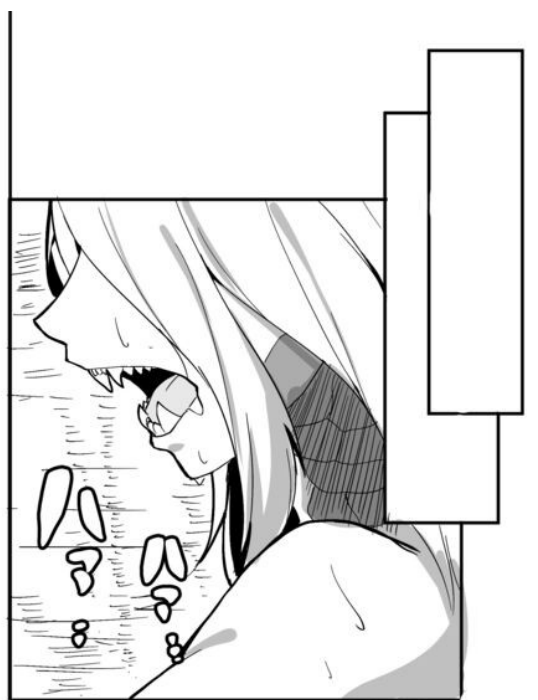




見失なた

んんん

世に



そろそろ
どこかで休まないと...

まだ追ってきてる...
何日も経ってるのに...

ガッ

ふん

キカ







この人…
刃物を持ってる



ハッ!

!



見つかった?!



だめ…
こんな時に体力が…

殺される…



何かされた?!



無事だ…



この人確か
刃物を持ってた…



あ、アンタ売人？
私を生かして
何するつもり？



なんなの…ここ
最低限のモノしかない…

僕は…
本当は君を殺す
つもりだった

いつものように…

人間じゃあない
竜のような鋭い眼光や
角を見たら

殺すことができなかった…

この人も私を
人間扱いしない…

こんな私なんか！

ならなんで
助けたの？
そのまま
見捨てても
いいのに！



それは……





この姿を…？



もう少しだけ
君を…

その姿を
見ていたかった



王の命令ひとつで
何でもやる

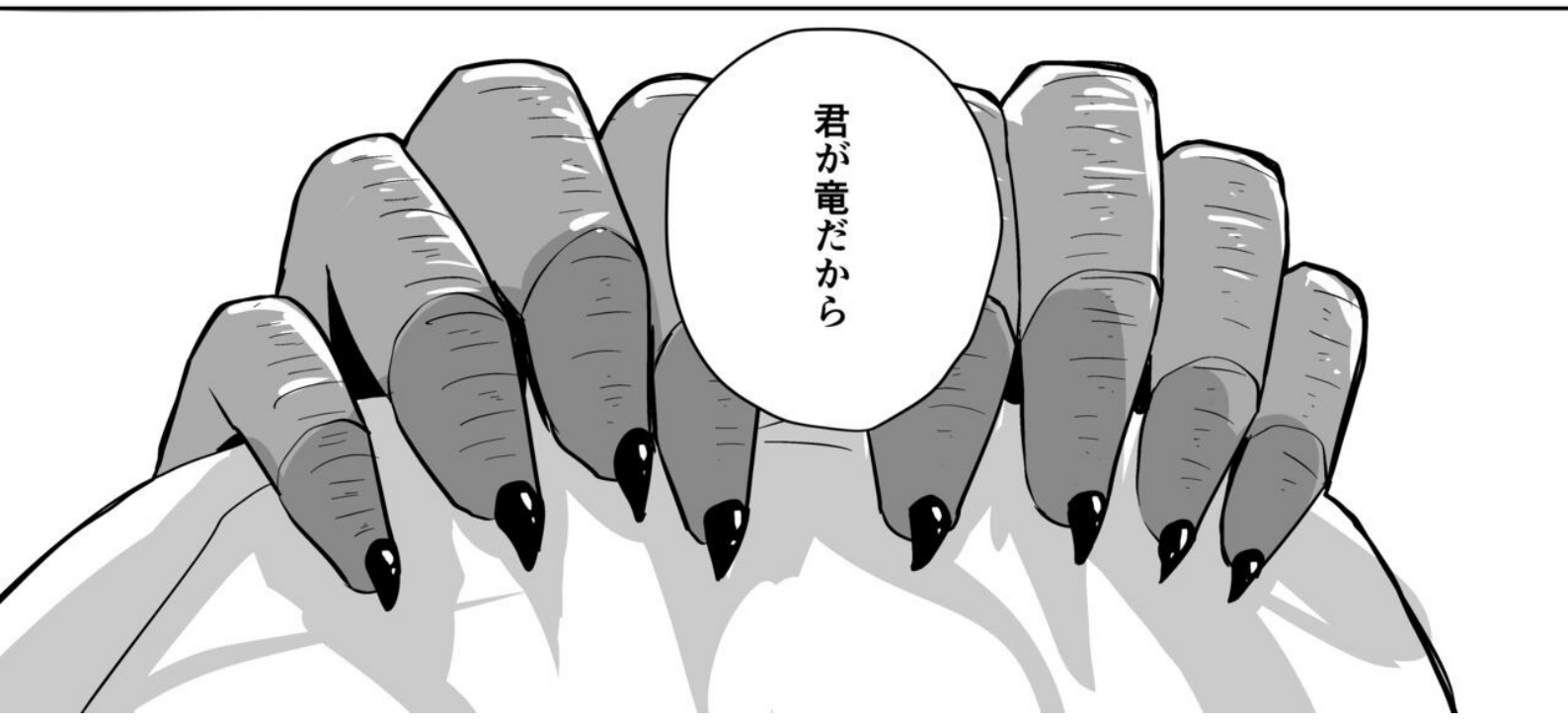
物心ついたときから
殺すための道具だ



あなた
いったい何者なの…？



僕は…
殺し屋だ



竜だから殺せない……？
普通の人は
竜って聞けば
血相を変えるのに……

どういう意味……？

それは……
……そのままの意味だ

竜の君は人として
見られないように
僕も道具のように
使われてきた

壊れたら
捨てられる
くらいに

だから
人間扱いされない
君に

同情して
助けたくなった

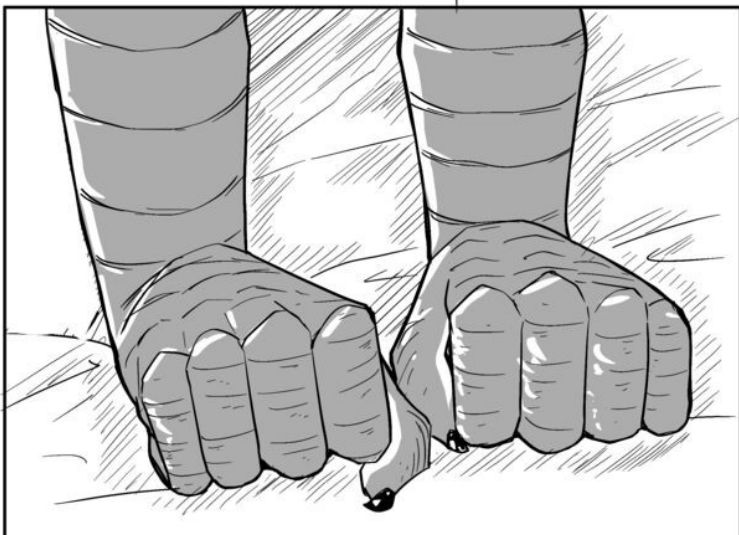
それだけだ

僕もガタがきたようだ

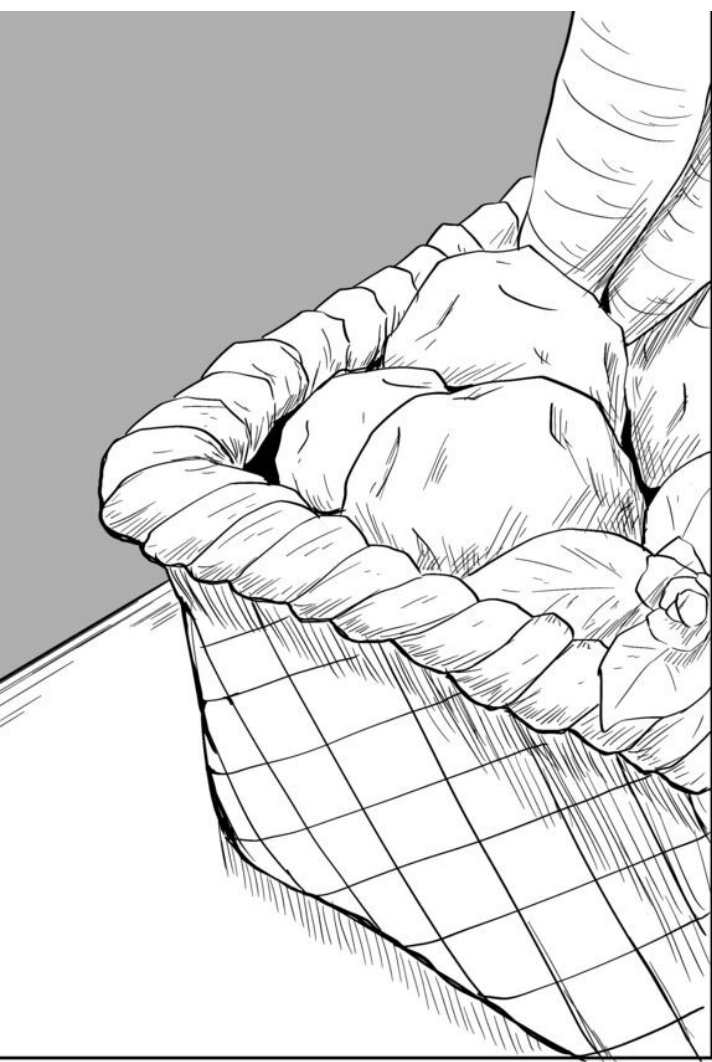
少し…
しゃべりすぎたな

どこか遠くに
いくといい

ここは好きに使って
いつでも出て行って
くれていい
僕は次の仕事がある



君は死んだと
伝えておくから



同情…してくれた



こんな姿の
私に…?



食材がある…



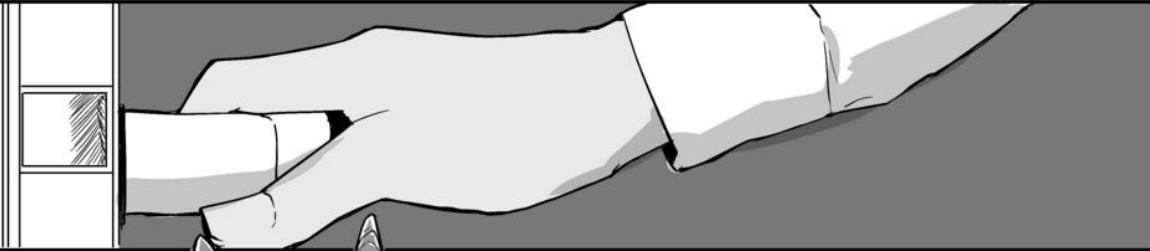
家に灯りが…？



やっと
終わった



ガチャ



えっと…おかえりなさい





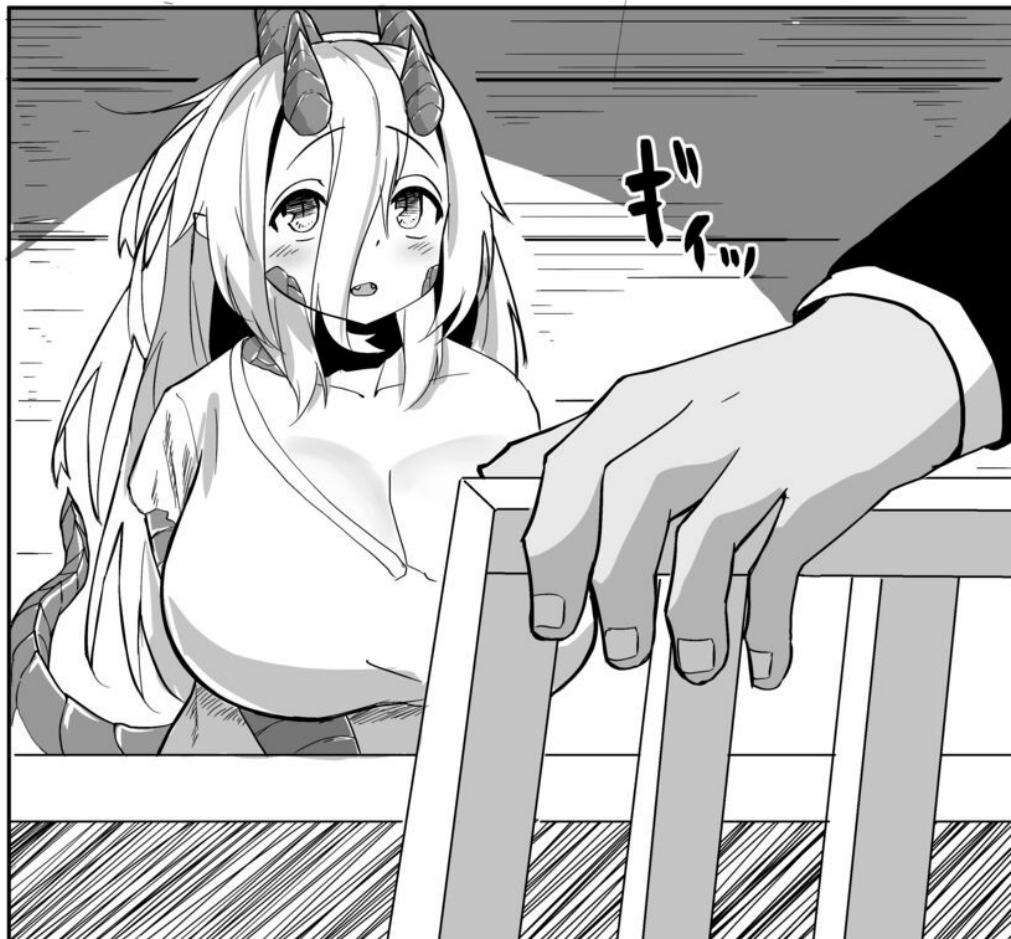
まだこの体で料理するの
慣れてなくて…
ちよっと失敗しちゃった…

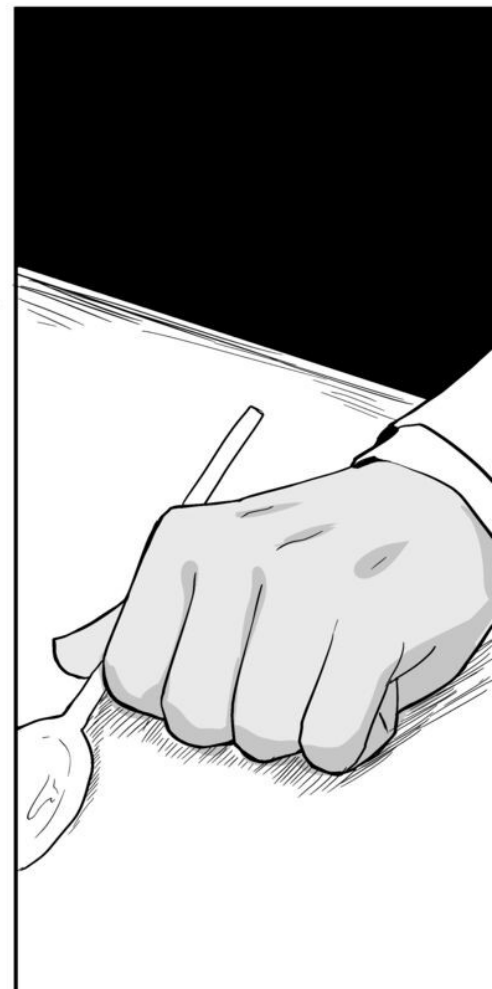


なんだ…
これは

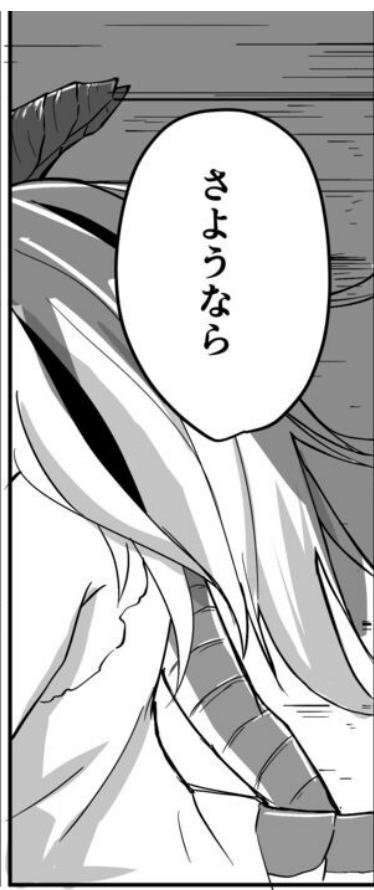


あと…その…
まだ助けてもらった
お礼を
してなかったから











ごはんのお礼が
まだ…



この姿を
受け入れられるの…？



どうして
竜が怖くないの…？



遠くに見える
その竜は
街を
壊していた

子供のころ…
竜を見たんだ

僕は…



いつか
僕を苦しめるすべてを
壊してくれて
救ってくれないかと



訓練の日々で
死ぬほど辛い
痛みの中
その光景は
希望だった



だから僕は
竜が怖くない
今の君を
受け入れられる



そして今日
竜の君が現れた
限界だった僕に
優しくしてくれた

初めて言われた

この姿を…
この私を…
あなたなら…

なら…

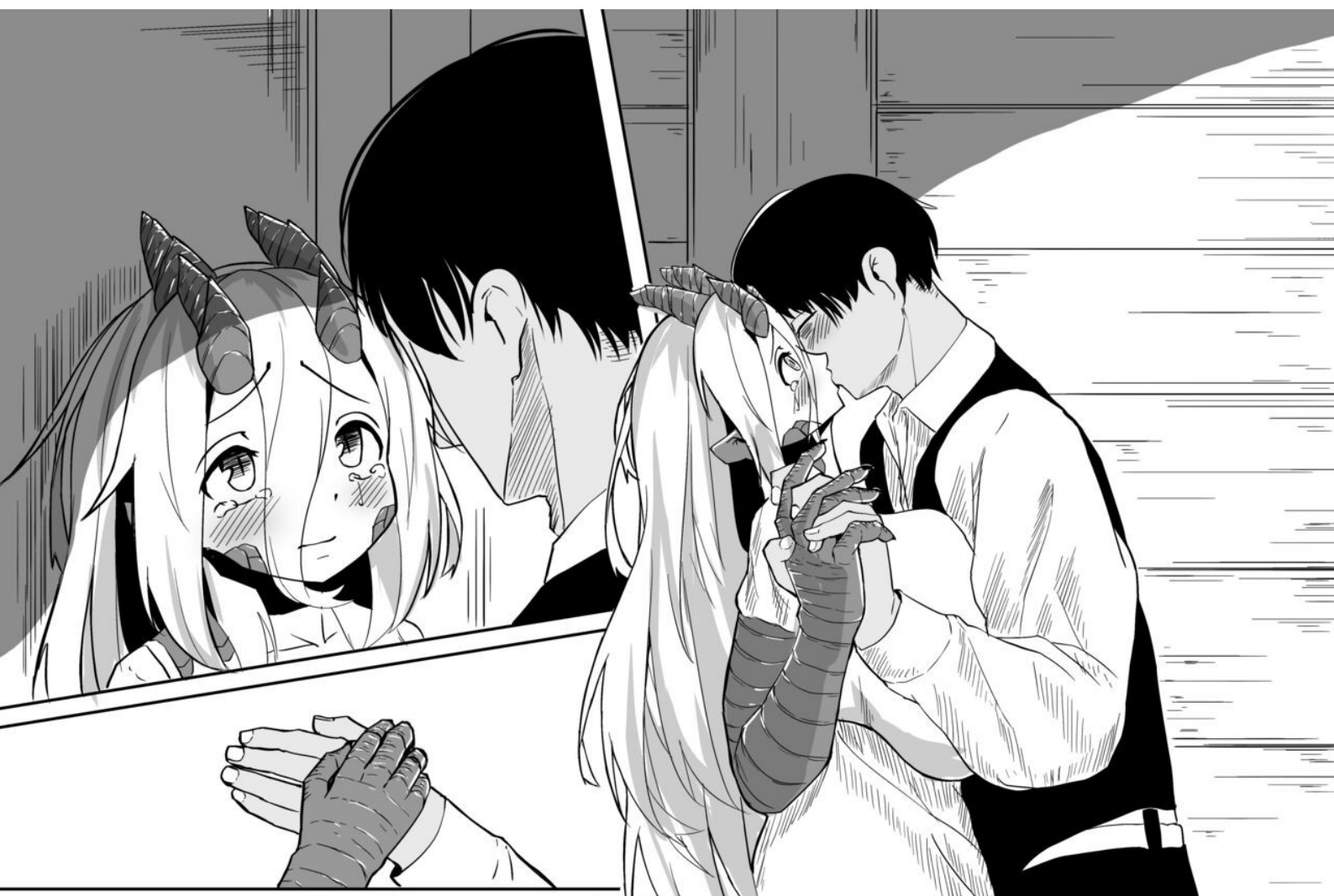


好きだ…
初めて見たときから…

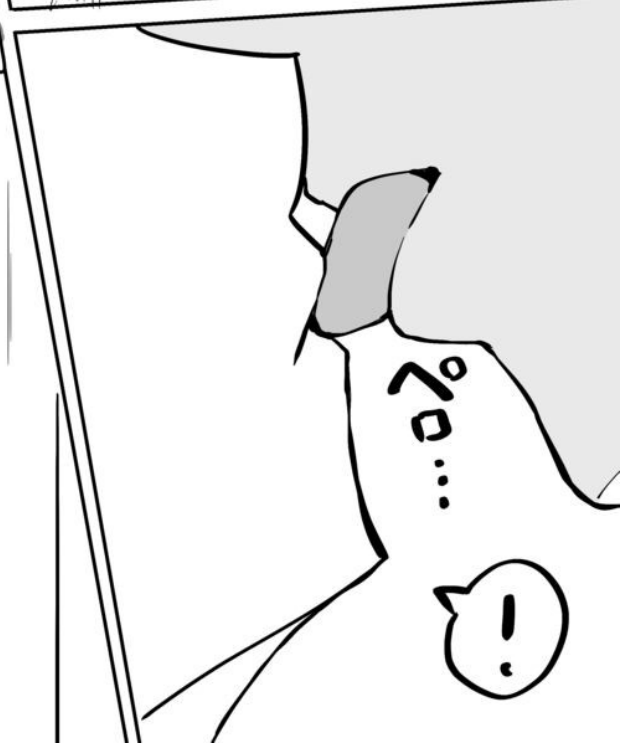
こんな姿の私でも…
好きになってくれる…？

あっ…あと
あたし昨日
野うさぎをそのまま
食べちゃったけど

歯は磨いたんだけど…



えっと…
牙で舌…
ケガしちゃうから—





この姿…
昔から嫌いだったけど

はーっ♡

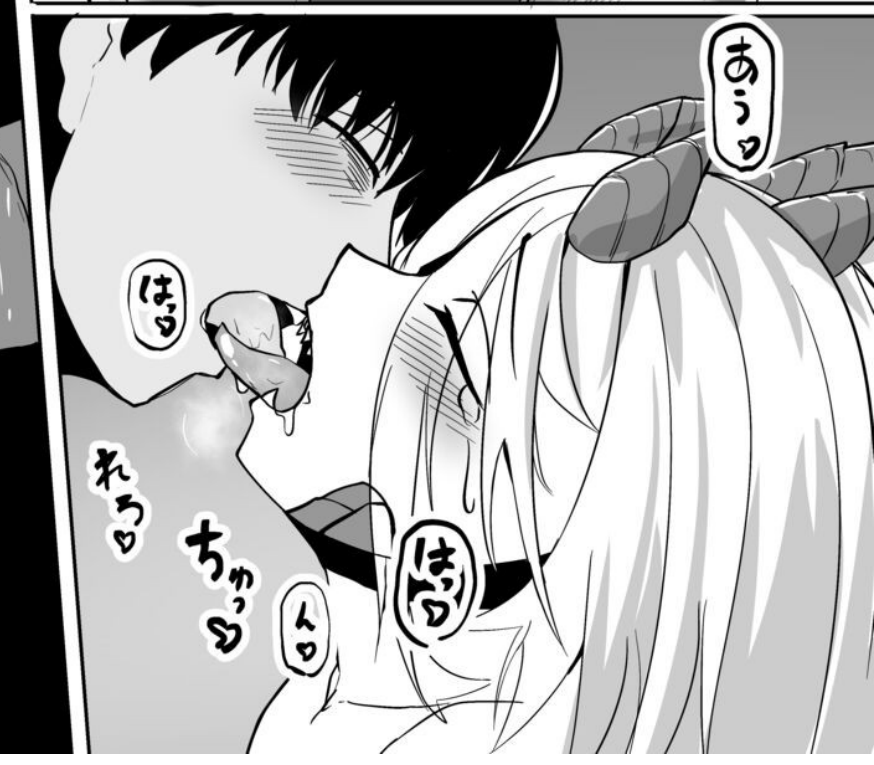


ぐっ♡



今は良かったと
思える…

ぎゅ♡



はっ♡

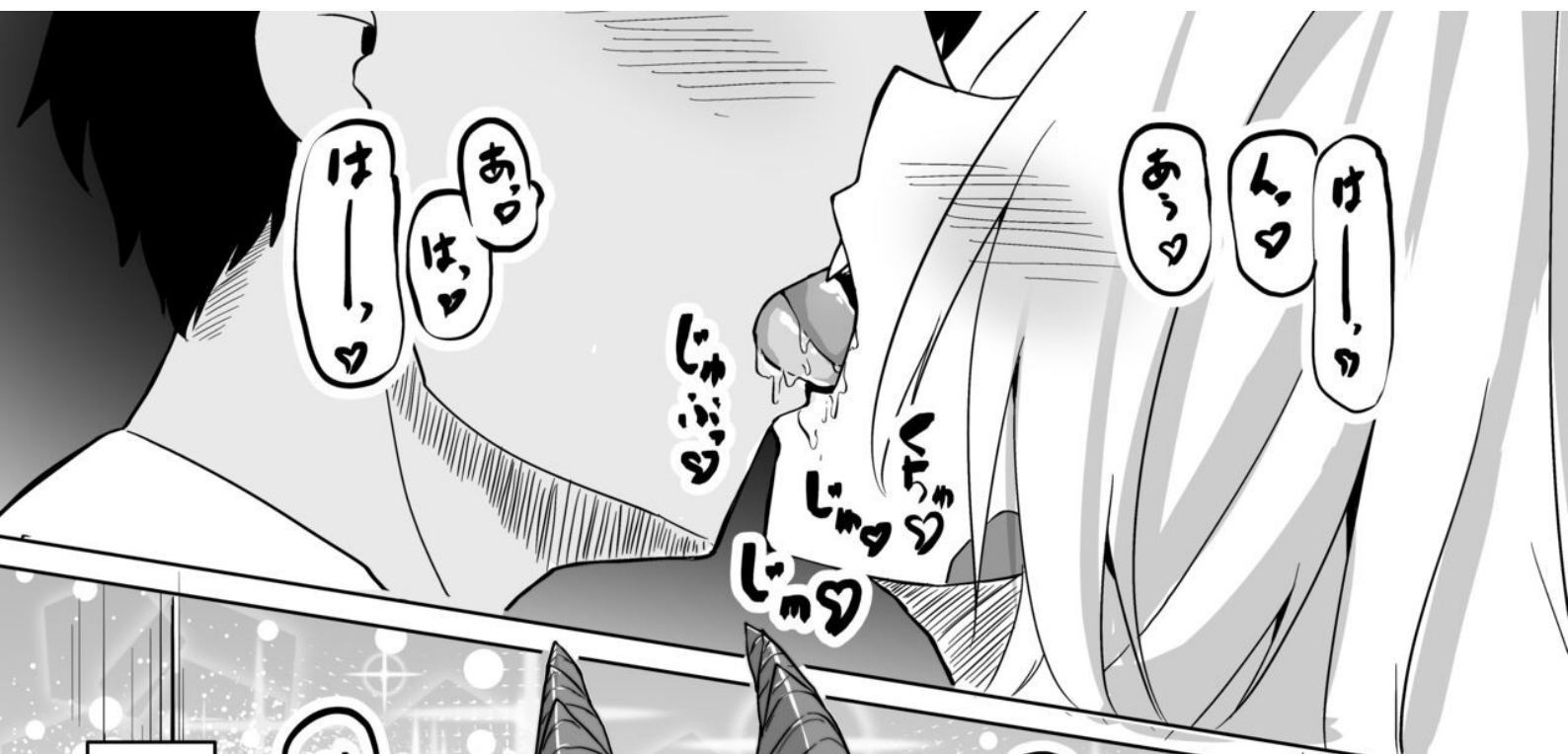
はっ♡

れっ♡

ちっ♡

ん♡

はっ♡



ふわふわする...

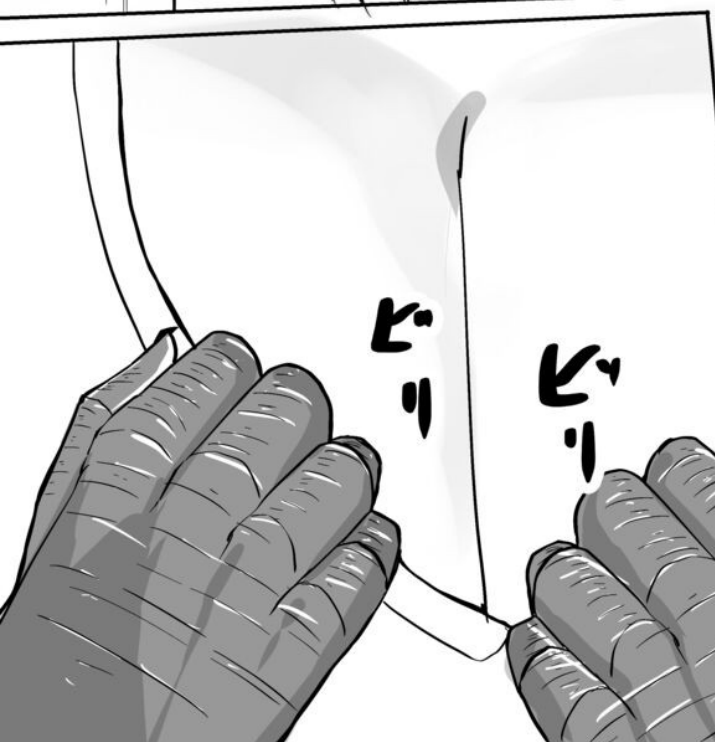
はー♡
はー♡

ん♡

あー♡

はー♡
はー♡

気持ちいい...
キスってすごい...

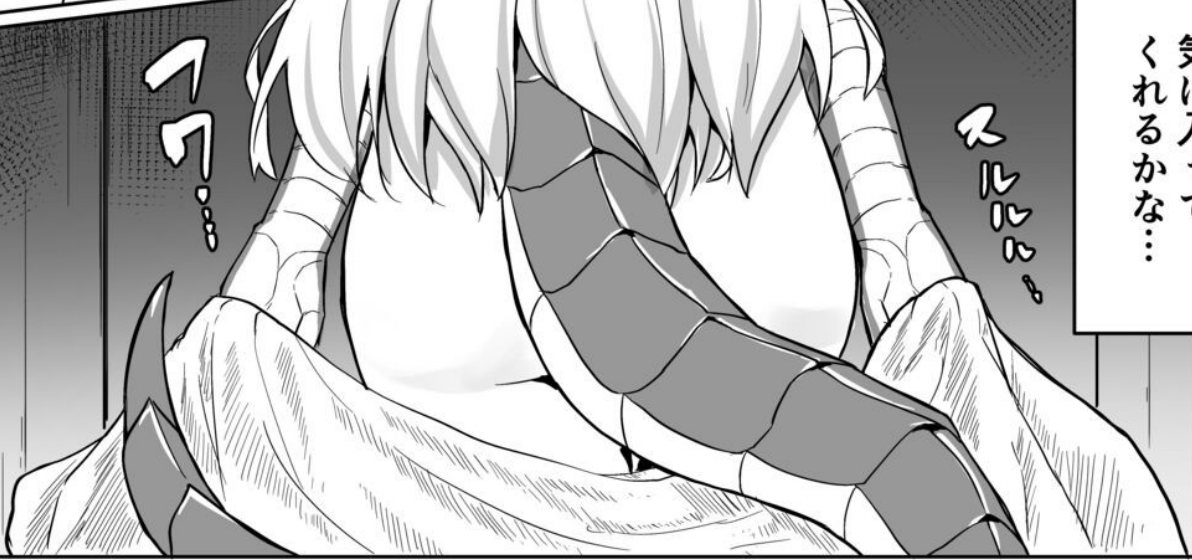


今なら
してもいいよね...

私のだらしない
おっぱい…



気に入って
くれるかな…



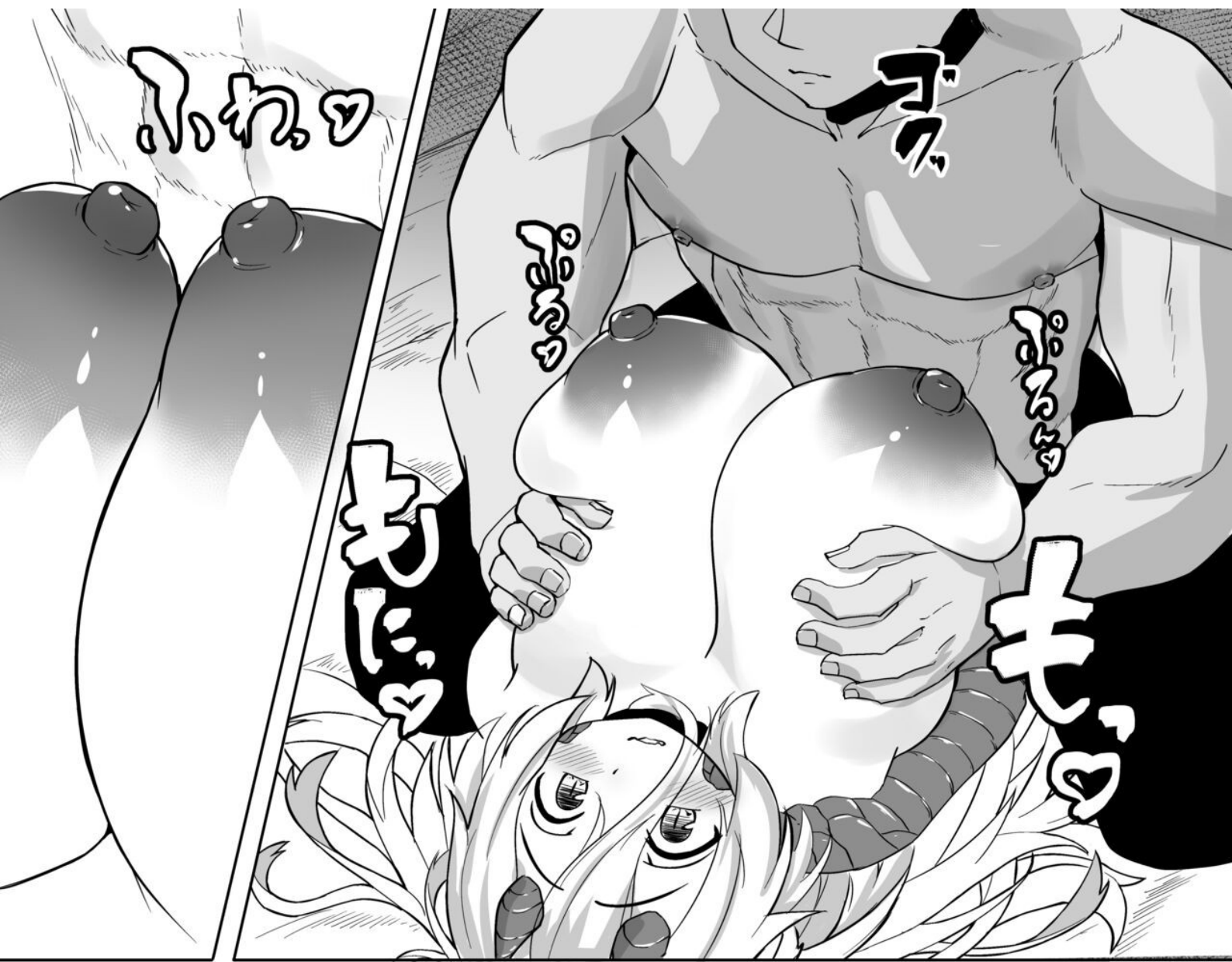
…すごい筋肉…

ア
ー
ッ

ズル
ズル
…

ぎゅっ♡
♡





ふわ♡

ゴク

もい♡

もい♡

もい♡

もい♡



赤ちゃんみたい

一生懸命…

しゃん♡

しゃん♡

しゃん♡

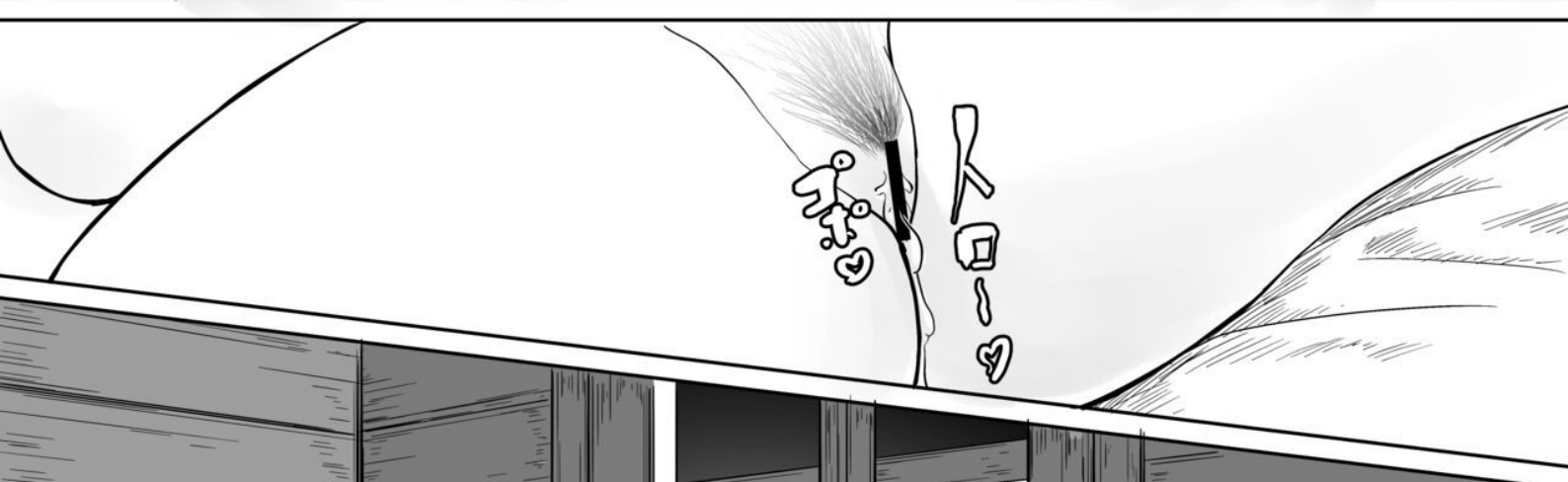
あ♡

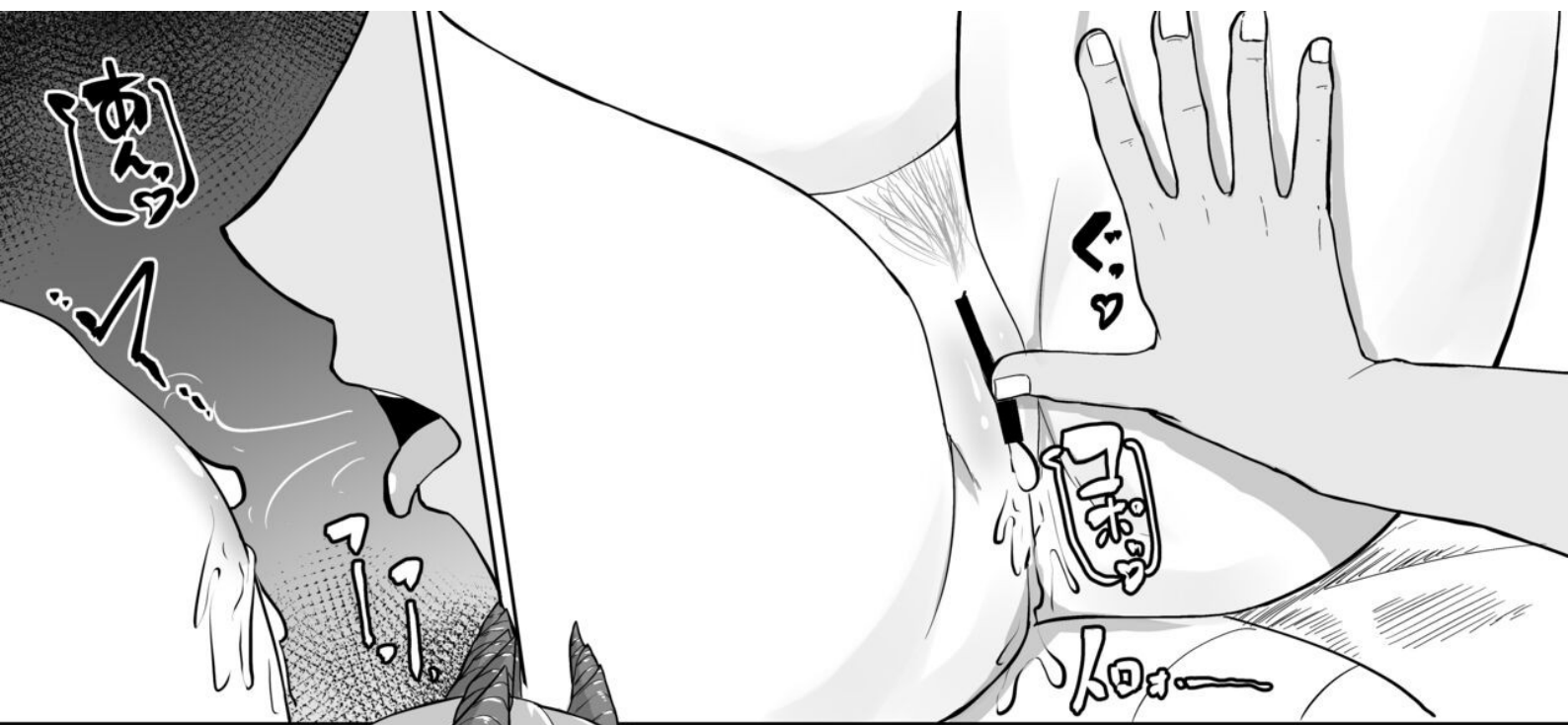
ん♡

は♡

は♡









痛い

うん

指...入れるよ

ちんぽ

ちんぽ

ちんぽ

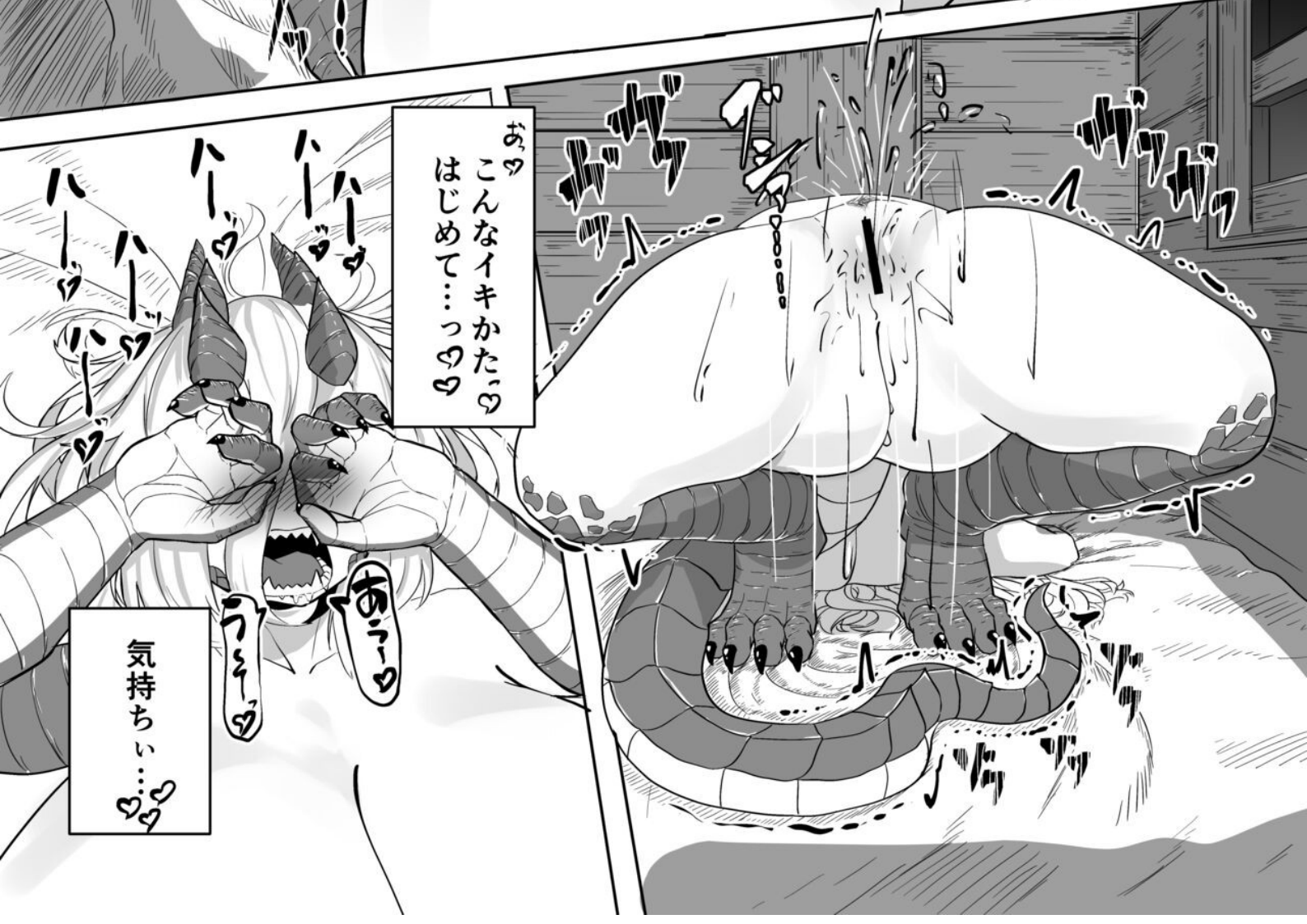
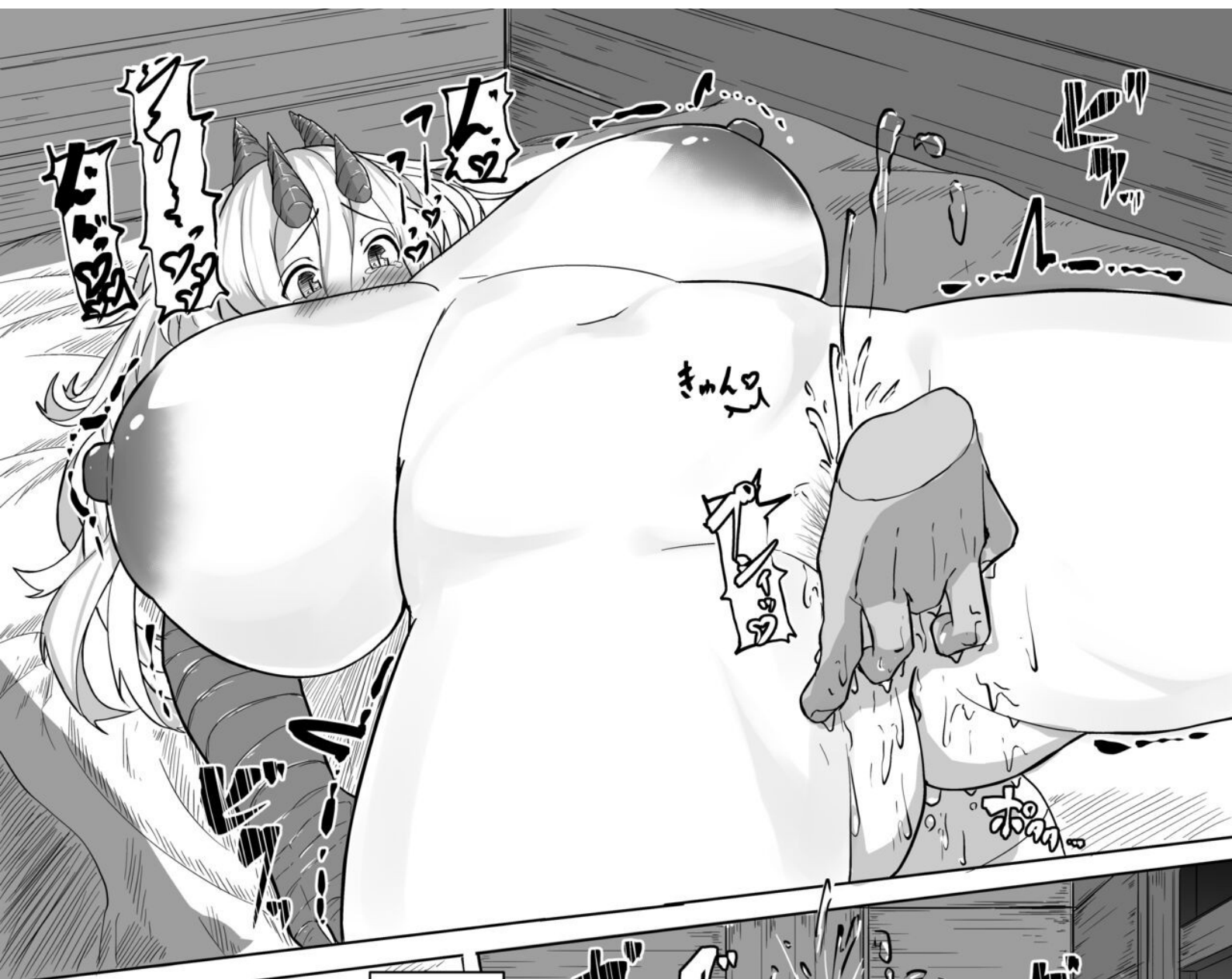
ちんぽ

ちんぽ

ちんぽ

ちんぽ

あー



おめ♡
こんなイキかた♡
はじめて…っ♡♡

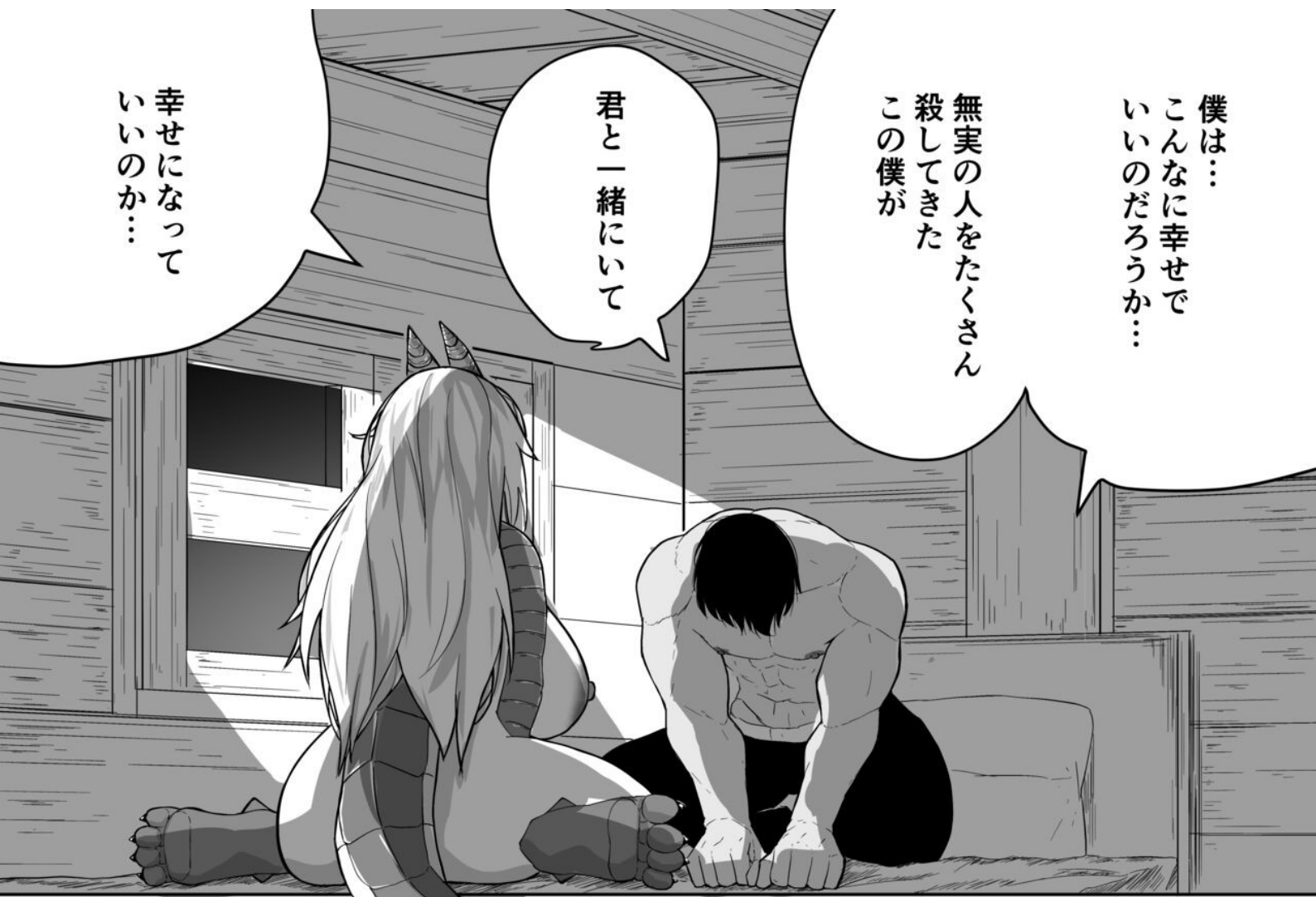
気持ちい…♡♡

僕は…
こんなに幸せで
いいのだろうか…

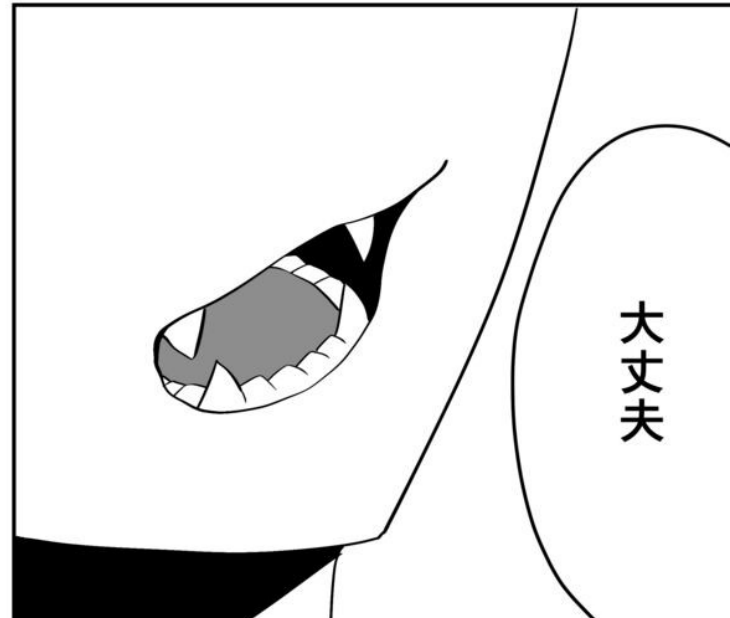
無実の人をたくさん
殺してきた
この僕が

君と一緒にいて

幸せになって
いいのか…



君が幸せなことに
人を殺したことは
関係ないよ…



大丈夫



優しくて
真面目なんだね

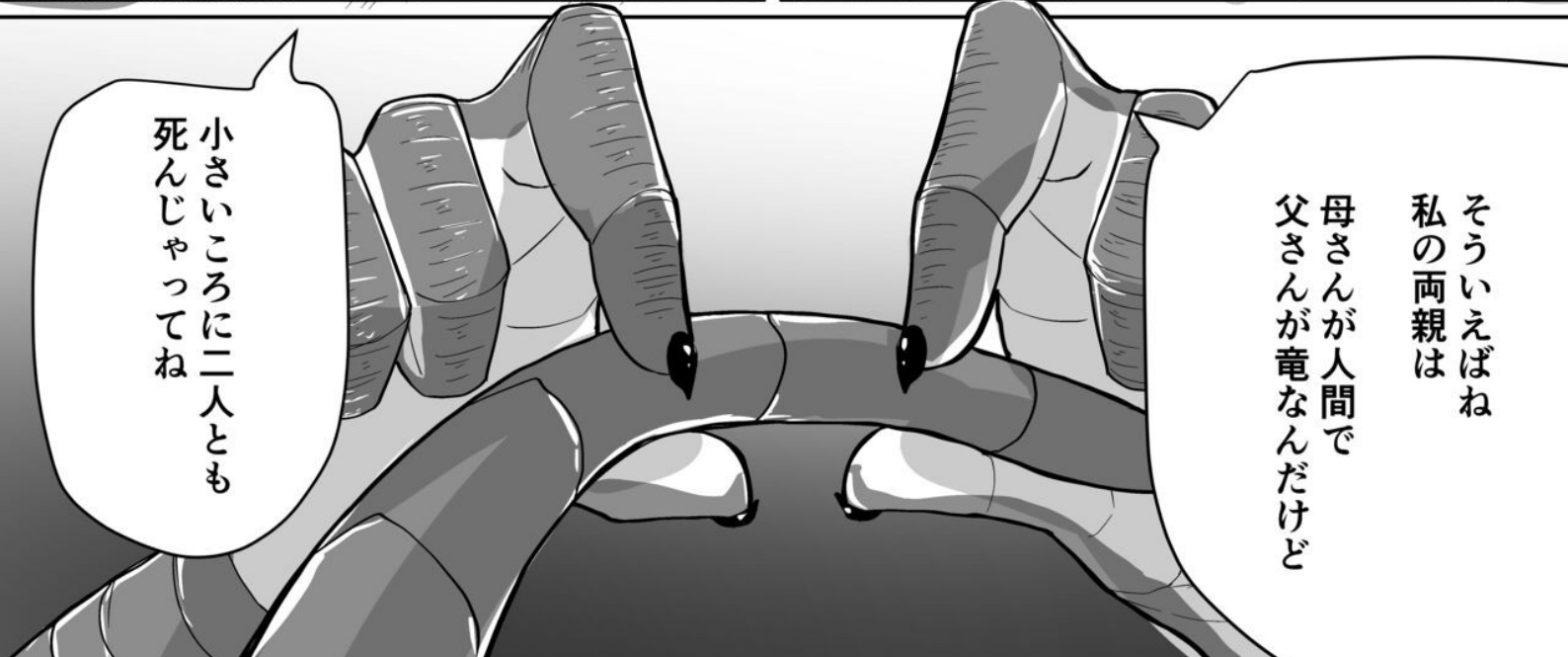


でもっ…
幸せな気持ちになると
殺してしまった人が
脳裏に浮かぶんだ

お前だけ
"ズルい"って
顔をするんだ…



おれは…っ



そういえばね
私の両親は
母さんが人間で
父さんが竜なんだけど

小さいころに二人とも
死んじゃってね

母さんは
竜と結婚したって理由で
いじめられて
死んじゃって

父さんは
それに怒って
街を壊して
そのまま息絶えて

私は生きるために
壊れた街で
竜被害の孤児として
引き取られた

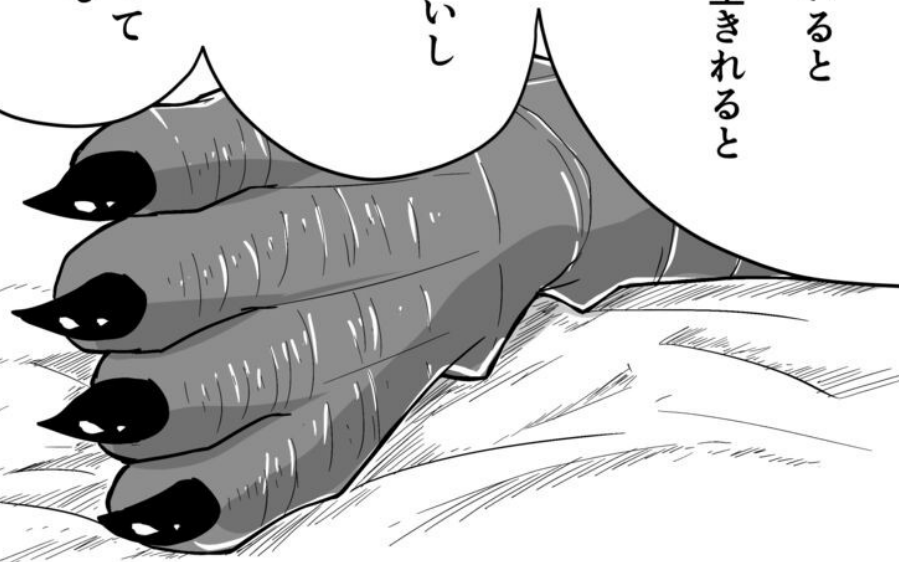
まあその街でも
この前
迫害されちゃった
んだけどね

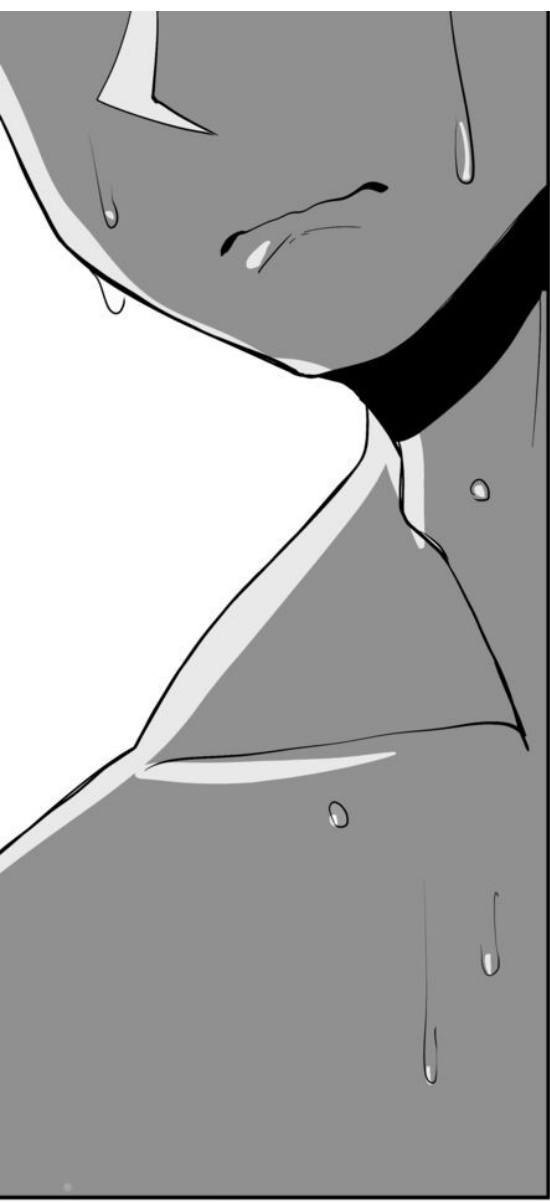
両親がずっといると
思ってたし
街でも静かに生きれると
思ってた

だけど
幸せは続かないし
平穩は突然
失われる

今ある幸福だって
何もなくなっても
消えてしまう

だから
君が自分を許せなくても
今だけは少しだけ
"ズル"しちゃおう？





私が君を
許すから





おちんちん…

あなたのおちんちん
入れてほしい…



お…おへそ超えてる…
今からこれが
私の中に…



ぬいぐるみ♡

もう少しほぐして—



あ…
私の
キツイかも



ニギッ♡
ニギッ♡
ニギッ♡
ニギッ♡



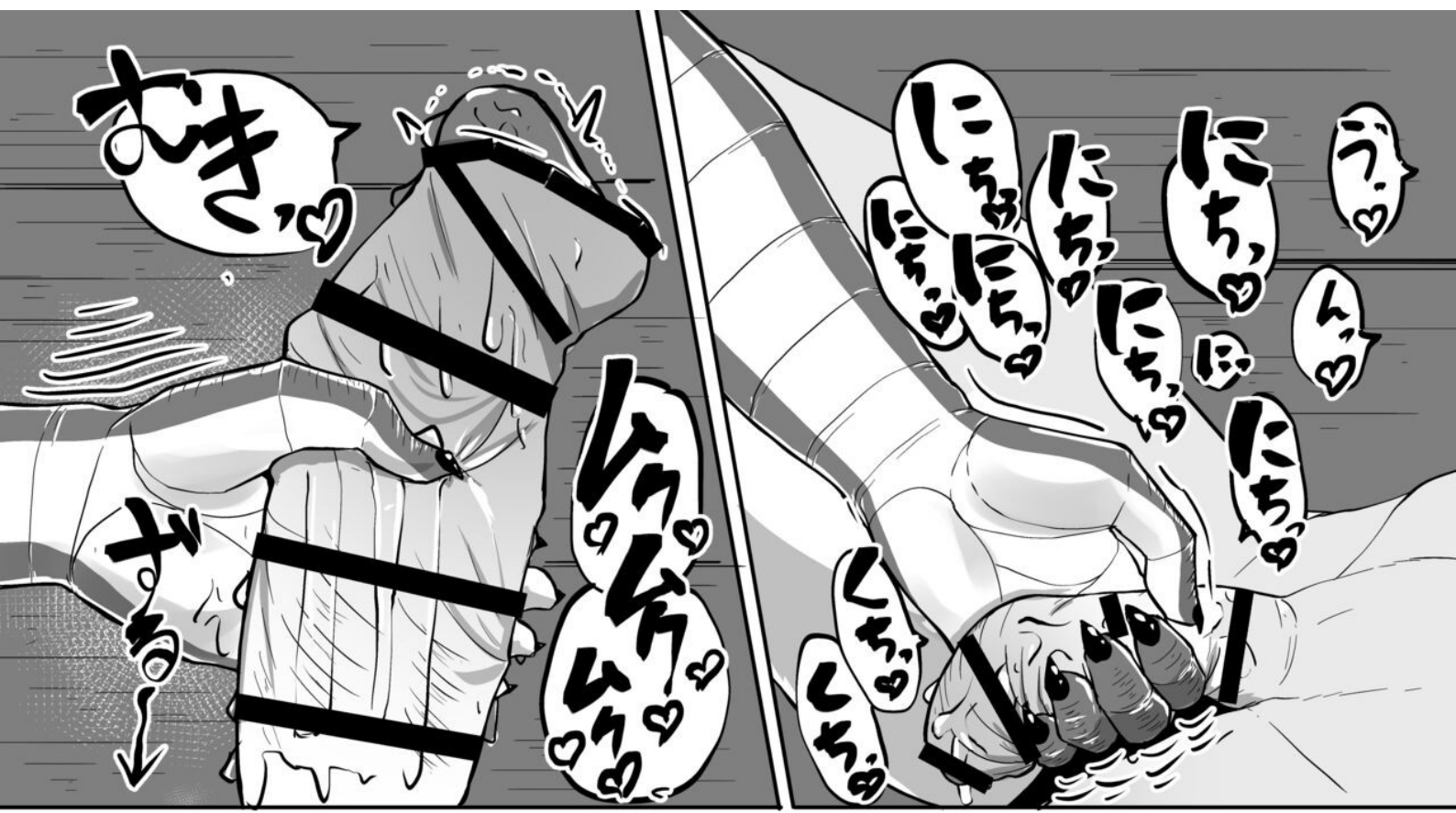
おちんちんのどまで感じる

足の先から角まで気持ちいがしゅごい





気持ちいい…





すごく立派なおちんちん…♡

こするたびに透明な汁が出てくる…♡

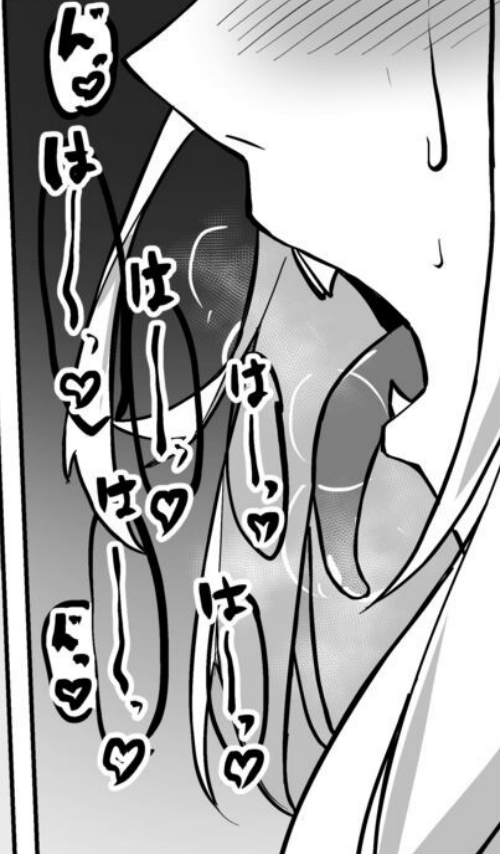


ああ…♡ そんな顔されたら♡

おかしくなりそう…♡



あ、♡
おちんちんでっぱり
コリコリして気持ちいい♡



いっ♡
腰が止まらない…♡
しゅっ♡…♡♡♡

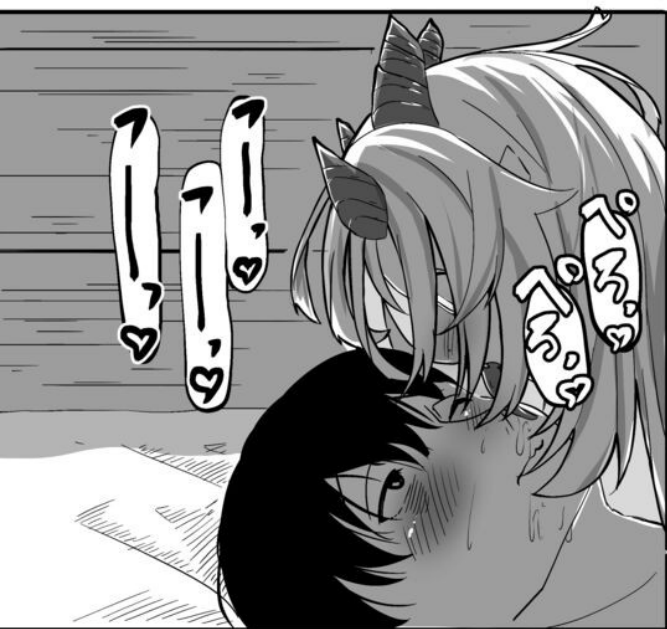
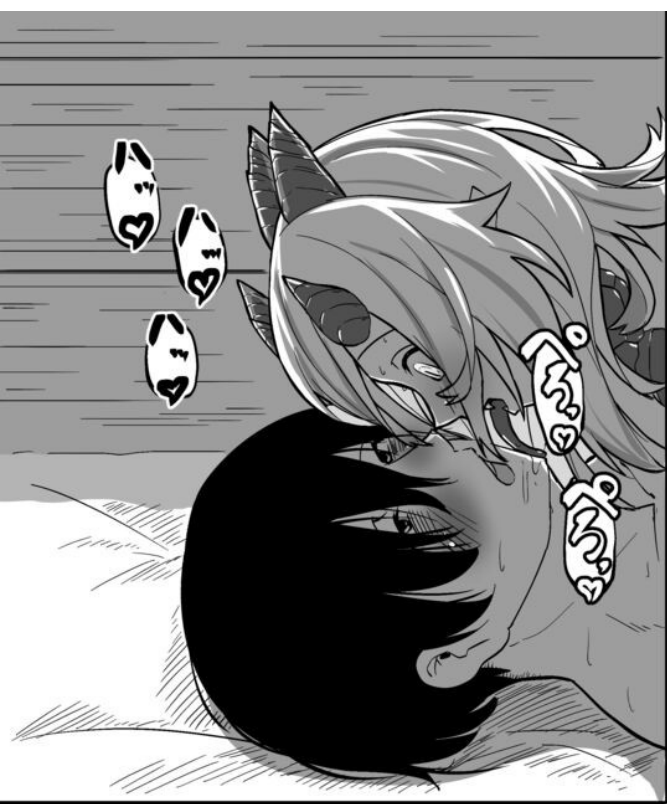


だめっ
中に出ちゃう……!

もう我慢できない

抜いてッ……









アッアッ♡

アッアッ♡

アッアッ♡

アッアッ♡

アッアッ♡

アッアッ♡

アッアッ♡

アッアッ♡

♡♡♡

アッアッ♡

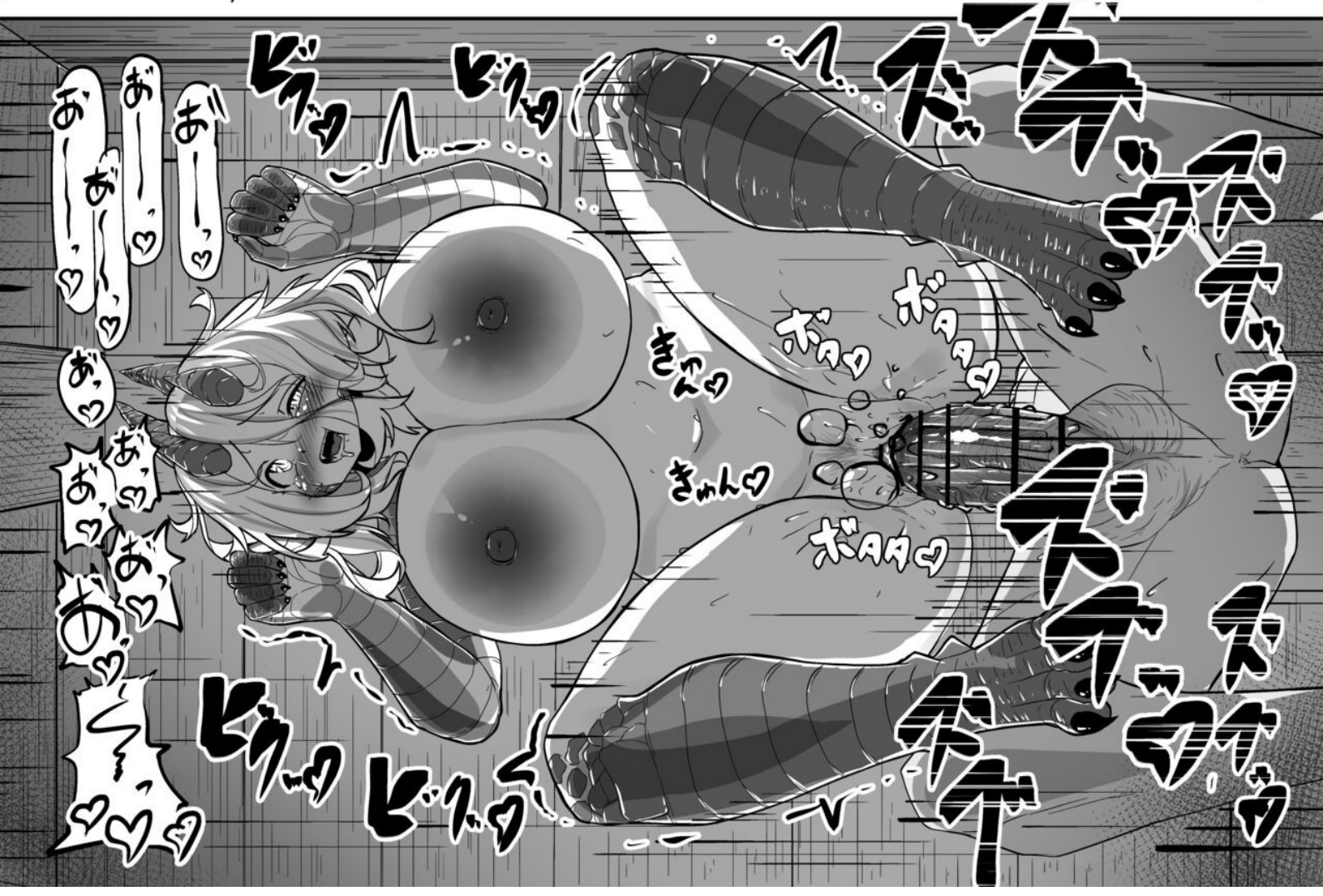
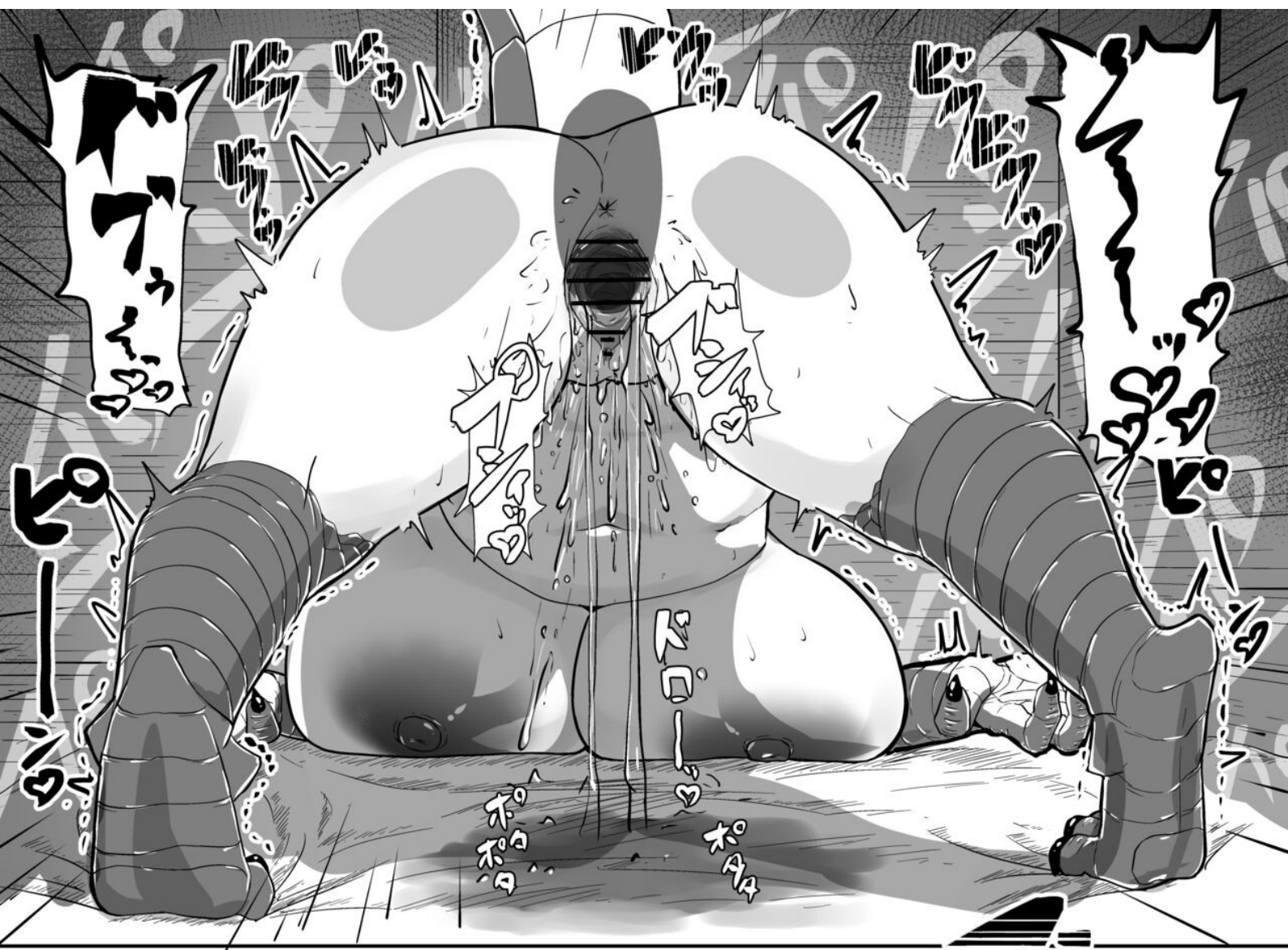
アッアッ♡

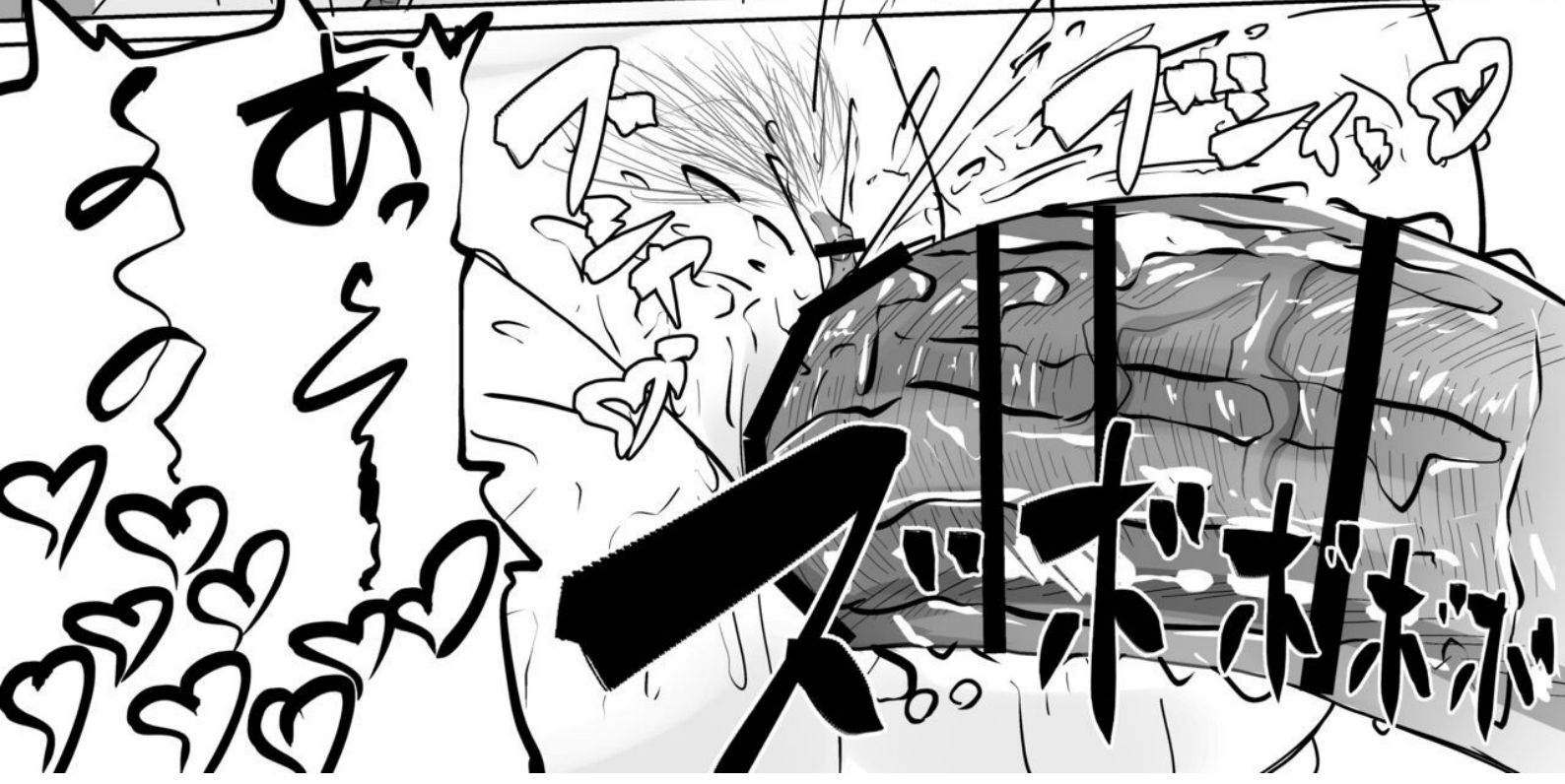
アッアッ♡

アッアッ♡

アッアッ♡

アッアッ♡













…アハハ

どうしたの？

自己紹介
してなかった

…そうだったね

私の名前は
ティア・ドランジール

僕は…
ナナ

二人は他愛のない話をし
思い出したかのように
疲れがきて
そのまま寝てしまった

明日を忘れ
夢に逃げるように
寄り添って眠りに落ちた

あとがき

この度はこの本を購入いただきありがとうございます。
今回は竜娘が迫害されて、打ち解けたのちに
純愛発情野獣エッチが描けたので楽しかったです

特に人外キャラの迫害シーンがフェチだったので
初めて自分で描くことで、それに対する解像度が上がり
より、自分の中でフェチが濃くなった感じがします。

ちなみに、個人的迫害シーンで好みのものは
・ダーリンインザフランキス13話のゼロツー過去編
・デジモンフロンティアの主人公がフレイモンになって
 怯え隠れながら街を移動し実家に向かうシーンです

特にハッピーエンドが約束されている迫害シーンは好きです

あと、今回は中出しシーンはありませんでした。。
期待していた方、すみません。
竿役の男の子が根はやさしい設定でしたので、
あつてすぐの子に無責任中出しする…？
と思ったので中出しシーンは泣く泣くなしになりました。

ゴムとかあればよかったのですが時代背景的に不自然なため…
いずれにせよ、出会ったばかりでゴム持ってる理由も難しく…

続きを描く機会があれば、いっぱい中出し
シーンを描きたいです

連絡先

twitter : https://twitter.com/kagarimachi_ame

Gmail : saikutsukichi@gmail.com

